

企業
情報

株式会社ウーオ
業種：情報サービス業
従業員規模：11~50人

課題
分類

業務プロセスの効率化
経営判断の効率化・高度化

DX実践の
目的

バックオフィス

債権管理業務のデジタル化による業務効率化と長期未回収の解消

課題
内容

- 日本各地の水産物の卸売販売や、卸売業者向け受発注業務支援ツールの開発を行っている。月200件程度の請求書（売掛債権）を発行しているが、手作業で入金明細と請求書を照合していたため、時間と手間がかかっていた。
- 入金金額をExcelへ手入力する必要があったため、誤入力や記入漏れなどが月に3件程度発生しており、仕訳ミスにつながっていた。
- 入金管理が不十分だったため、未回収が発生していても、気づかないことが多々あった。

実施
概要

- クラウドの債権管理システムを導入し、銀行口座と連携させることにより、入金明細を自動取得できるようにした。
- 会計記録の仕訳を自動でできるようにした。
- 入金予定日を設定し、請求書の期日管理情報を一覧化した。

効果

- 請求書管理や預金履歴照合、仕訳入力業務の効率化により、正確に会計処理が行えるようになり、月25時間の削減を実現した。
- 入力手作業はなくなり、ミスが削減した。
- タイムリーな入金消込が可能になり、未入金先をすぐに把握できるようになった。入金遅延先には迅速な連絡ができるようになり、長期の未回収が解消された。

IT
ツール

【使用ツール】 マネーフォワードクラウド債権管理 <https://biz.moneyforward.com/receivable-management/>
 【取り扱い企業】 株式会社マネーフォワード <https://corp.moneyforward.com/>
 【ツール概要】 債権を包括的に管理できる入金消込・債権管理システム



Point

- ・債権管理システム導入により、記入ミス、仕訳ミスが削減され、業務効率が大幅に改善（月25時間削減）
- ・未入金先の把握と管理が容易になり、長期未回収の発生を解消

【導入前】債権管理・延滞先管理・仕訳業務に人手も時間もかかっていた

- ◆ 入金金額をExcelに手入力
- ◆ 銀行口座の入金明細と請求書を照合
- ◆ 誤入力や記入漏れによる、仕訳ミスの発生



未入金の発生に気づかず、
長期未回収が発生

【導入後】クラウド上で債権情報を一元管理し、大幅に業務を改善



- ◆ 銀行口座とAPI連携することにより、請求書と入金を自動照合し、タイムリーに未入金を把握
- ◆ システム上で自動仕分け

業務効率アップ

作業時間の削減

延滞管理の円滑化

補助金活用

広島県デジタルサービス活用型人手不足対策事業補助金